

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](平成 31年 4月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)
廃プラスチック類	0.0000 (t／月)
ゴムくず	0.0000 (t／月)
金属くず	0.0000 (t／月)
ガラスくず及び陶磁器くず	0.0000 (t／月)
がれき類	4.9900 (t／月)
アスベスト含有 ガラス・陶磁器	20.9900 (t／月)
" がれき	0.0000 (t／月)
" 他	3.7600 (t／月)
	29.7400 (t／月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	15台 15回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り
	平成 年 月 日
安定型産業廃棄物以外の 廃棄物の付着又は混入が 認められた年月日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り ^{*1} (浸透水採水1号)	
採取日	平成31年4月8日	
分析結果が得られた日	平成31年4月26日	
BOD ^{*2}		基準値 20mg/l以下
COD ^{*2}	6.9mg／リッル	基準値 40mg/l以下
異常の有無	有 · 無	
必要な措置を講じた年月日 とその内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り ^{*1}	別紙1の通り ^{*1}	別紙1の通り ^{*1}
採取日	平成31年4月8日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果が得られた日	平成31年4月26日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙1「場内見取り図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り ^{*3}	別紙1「場内見取り図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り ^{*3}	別紙1「場内見取り図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り ^{*3}
異常の有無	有 · 無	有 · 無	有 · 無
必要な措置を講じた 年月日とその内容	地下水等検査25項目の年1回の 検査を下越総合健康開発センターに 4月8日採水、分析していただきました。 結果、25項目で周縁地下水2箇所 及び浸透水採水設備1号で環境基準値 を超過する値は、出ませんでした。 継続監視している「ヒ素、鉛、シアン」 も他の監視井戸を含め(7号井戸、 旧消防P用)検出されていません。	結果については、新発田地域振興局 環境センター 担当者宛に 計量証明書のFAX送信をしました。	

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

点検日	擁壁等
	平成31年4月8日
異常の有無	有 · 無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容 ^{*4}	処分場が隣接する長谷川建設及び曾根建ご担当と 境界の確認と最終埋め立て等について協議しました。

*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか「計量証明書」を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。